

TABLE FOR TWO

テーブルの向こう側から

これまで給食
51,110,258食分の
ご寄付が集まりました！



タンザニア ザンジバル諸島 地元農家の野菜を使った給食

TABLE FOR TWOはタンザニアのザンジバル諸島の9校で学校給食を支援しています。観光地として知られるザンジバルですが、中心地を離れると零細漁師や農家など、現金収入の手段をもたない世帯が大半です。

地元の農家が栽培した野菜を買い取り、給食の食材にするという取り組みは、零細農家の耕作技術の向上や安定的な収入確保につながっています。



あの子の
テーブル



© Junko Kaisato

ソルガム(もろこし)とササゲ豆を製粉して調理したお粥が主食で、日によって異なる野菜や果物も使われています。住民の半数以上がビタミンA不足のため、ビタミンAの含有量が多いオレンジ色のサツマイモを学校給食に使用しています。



© Junko Kaisato

零細農家の多くは収穫物を適正価格で販売する販路を持っていません。今回のプログラムではオレンジサツマイモや数種類の野菜など事前に指定した作物を栽培してもらい、収穫後に買い取ります。現金収入により家の修繕費用や通院費用を捻出できたという声が届いています。

タンザニア
ザンジバル諸島



日本
東京

世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。



TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

わたしの
テーブル



産直野菜を使用！グリーンファームデリソフトバンクのTFT対象メニューは、1gにつき0.1円が寄付される「グリーンファームデリ」。キヌアとビーンズのクレソンサラダやビーツとロマネスコの豆苗サラダなど、野菜をふんだんに使ったメニューが揃っています。



SoftBank

食堂は食事だけでなく、コミュニケーションの場としても活用されています。お茶を飲みながらのミーティングや、お客様との打ち合わせに使われることも。3月にはTFTサポーター向けの社食ツアーも開催され、会社を超えた交流が実現しました。